

1 1月1日のスポーツ審議会総会・スポーツ基本計画部会における資料3-1・3-2についての  
各委員の主な指摘事項（概要）

**【総論】**

- 障害のある方も含めて、様々な立場の方がスポーツを通じて、様々な価値を享受できる社会に向けての計画になると良い。
- スポーツを「つくる／はぐくむ」という部分については、とても大切なことであるため、文言として入れてほしい。
- 基本計画を目にした人が、この計画が実際に実行されることによって子供から青年、お年寄りまで、スポーツを楽しむことができるということを実感できるようにしてほしい。
- スポーツの価値に触れる際、国際化、経済活性化への貢献や健康増進への貢献といった価値も大切だが、身体を動かすことの楽しさや喜びといったスポーツそのものに存在する価値についても触れていただきたい。
- スポーツの価値を内在的価値と外在的価値の二分法で構造化しようとする、例えば鶏が先か卵が先かという循環論証に陥ってしまう可能性がある。
- 基本計画の読み手のターゲットをどこに置くのかは、とても重要で、中学校3年生あるいは高校生が読んで十分にわかる程度で記載する必要がある。
- オリパラの開催に関する記述について開催に向けて様々な議論があったという現実も踏まえた文言にしないといけない。
- 東京大会の開催が社会や一般の人々に与えた、いわゆる無形のレガシーが上手くすくい取れていない。楽しみというものを広げるための指標がないため、スポーツをする楽しみ、喜びをくみ取ってほしい。
- 国際社会における評価、日本の貢献についてもレガシーになるため、具体的な施策やアウトプット指標にできるのか、一考してほしい。
- 「つくる」の視点を丁寧に説明することが大切。既存のスポーツなどからの工夫・配慮を含めて選定・考察し、その上でつくるということを説明に盛り込んだほうが良いのではないかと。
- 「つくる」について、広くスポーツを広めるためには関わる人ができる人の枠自体を広げるというイメージを持たせるような要素を入れていくことが必要。
- 地域のスポーツをどうするかと考えた際には、その地域にいる人たちが集まって話をしたり課題に対応したりするという機会が重要なため、「あつまる」というキーワードを総論の中にも入れていただきたい。
- 東京大会のレガシーを可視化してほしい。
- 例えば、気候変動や人口減少社会等の地球規模の課題に対してスポーツ界としてどう取り組むのかを第3期計画で書いていく必要がある。
- オリンピック・パラリンピックのレガシーについて、一つの柱で記載したほうが良い。
- 中長期にわたっての計画のため、環境変化に合わせて評価の見直しを柔軟にしていくやり方も検討すべき。

### 【基本的な方向性】

- スポーツで「人生」が変わる、スポーツで「社会」を変える、スポーツで「世界」とつながる、スポーツで「未来」をつくる、の考え方を第3期計画でも踏襲するのは良いことだが、5年前と人生、社会、世界、未来の内実が変わってきていると思うので、そこを意識してほしい。

### 【第3期計画に掲げる施策の総合的・計画的な推進のために必要な事項】

- 広報活動の推進について、アスリートの発信力は素晴らしいので、上手く活用したほうが良い。
- 第3期計画を実効性があるものにしていくため、地方自治体が推進していけるかが重要である。より明確に周知、運用までいけるようサポートすることも必要。

### 【第3期スポーツ基本計画における個別政策群の関係性（イメージ）】

- トップスポーツと地域スポーツの好循環は、スポーツ庁ができる前からスポーツ立国戦略の主要なテーマであったはずなので、なぜ施策が進まないのか、課題意識を持つ必要がある。
- 好循環のアウトカムは示されているが、アウトカムに至る主要なプロセスが示されていないため、記載したほうが良いのではないか。
- 地域スポーツとトップスポーツは上下関係ではないので、ピラミッドではなく、多様なピラミッドが重なっているイメージの中で、どの施策が中心となっていくかを考えた方が良い。
- 「誰が」という部分を置いた方が、地方自治体、競技団体等の位置づけがもう少し明確になるのではないか。

### 【今後5年間の主な具体的な施策の項目案】

- 部活動改革が行われていく中で、学校体育団体の体制強化はどういったものを目指しているのか疑問。
- 部活動の地域移行のなかで、スポーツに親しむ時間と仲間が地域に離れ、そのことで運動、スポーツ離れが進み、二極化してしまうのではないかと懸念がある。
- 医療・介護、企業・保険者との連携という記載について、もう少し具体的に記載したほうが良い。
- 東京大会におけるドーピング検査について、国内外たくさんの検査員が参加してくれ、スポーツ政策の下でこれまで培ってきたネットワークの存在が大きいと感じた。こうした、人的な資産をレガシーとして継承していくのが重要。
- アンチ・ドーピングについて、分析手法も日々進歩しているため、分析機器の整備、研究の活性化が非常に重要。
- カザン行動計画にもアンチ・ドーピングの政策フレームワークを持つことが示されているので、これに沿って第3期計画の施策の方向性を決めていただきたい。
- 日本はドーピング違反は少ないが、居場所情報の不備やサプリメントの多用などの問題も見られるため、初等教育から高等教育まで学校教育の過程において、教育を拡充することが必要。
- スポーツの指導について、教えるのも重要だが、考えさせて、考える過程が楽しくてスポーツが楽しくなるといった指導のパラダイムの変換、新しい考え方が必要。
- 地域スポーツの環境整備、確保を支援する施策や、経済格差、地域格差などの様々な格差によってスポーツを楽しむ機会に差が生じないための配慮をしてほしい。

- 現場が動かないと施策の推進はできない。現場の方々もスコープに入っているというメッセージがあると、施策の推進が早くできるのではないか。
- 学校における体育授業を見学する障害者の子供をゼロ、スポーツ施設において障害者の利用を拒否する施設をゼロ、障害者スポーツ単独で活動する自治体をゼロの3つのゼロを具体化して、共生社会につなげてほしい。
- 「スポーツの国際交流・国際貢献」は、外在的価値をさらに発揮するための施策のため、「スポーツが社会活性化等に寄与する価値」の項目に入れた方が良いのではないか。
- 「スポーツの成長産業化」は、成長産業化して稼いだお金をスポーツのために使うという形が見えるように「スポーツの価値を発揮するうえでの基盤的な施策」の項目に入れた方が良いのではないか。
- 昨年と今年と、今までと違う5年間を過ごした子供たちへのこれからの5年間に向けた取組、施策等も盛り込んでほしい。
- 施策全体を見た際に財源がどのように流れていくのか、どのような仕組みで動いていくのかが分かったほうが良いのではないか。
- 公平公正な環境で競技するというアスリートの基本的な権利を担保することは大切なため、その視点も入れ込んでいただきたい。
- 横軸を刺していきながら様々な地域課題の解決を連動していくという観点が重要。
- スポーツツーリズムをやれば地域が元気になるというのが地方創生の目的ではない。地方創生の目的は、人と人が繋がり、地域のまちづくりができ、経済的にも精神的にも豊かになることを目指すものであるため、小さいまとめ方になってしまっていると感じる。大きな視点からスポーツの持っている力というものを書いてほしい。
- 具体的な施策を是非取り入れたいというような、希望が持てる見せ方が必要。
- 主体について、その主体間の役割分担にも注意を払い、明確な意識を持ったうえで、どの施策にどの主体がどういう関り方をするのかを書き込んだ方が良い。
- 東京大会での日本選手の活躍は、HPSCの貢献によるところも大きい。他方、競技特性等により各地の競技別強化拠点で対応している冬季競技において、スポーツ医・科学、情報等によるサポートなどの面で夏季競技と差があるため、冬季競技等の拠点の在り方も検討すべき。
- スポーツによる地方創生という観点において、スポーツによる「まちづくり」という視点が重要。
- ユニセフの声明文である「子どもの権利とスポーツの原則」に記載がある子供の権利を守るためには、どうすればよいか検討していく必要がある。
- DXについては、スポーツによる国際交流や成長産業化、健康増進、地方創生、まちづくりなどを達成できる可能性がある。トップと地域のデータプラットフォームをつくることや、最先端の機器を持っている企業と連携していくことが必要。
- スポーツ団体の連携・協働という観点が少し落ちてしまっているため、指導者の資格など、工夫して記載が必要。
- 暴力やハラスメントの点についても、スポーツ界の基本的な考え方をもう一度示すとともに、新しい課題に対してどう取り組んでいけるかも書き込む必要がある。

### 【第3期スポーツ基本計画 課題を踏まえたロジックモデル案（たたき台）】

- 体育授業の改善の記載があるが、体育専科の任用形態については、校長の裁量にしてほしい。

- 最低限のメディカルチェックを知らながら、運動に親しむということがこれからとても大事である。医療機関でのメディカルチェックという文言を入れた方が良い。
- 障害者スポーツ指導者について、各競技団体、競技団体の指導者が、障害のある方を指導できるようになることも重要であるため、広がりを持たせ、障害のある人を指導できる指導者を養成という記載にしたほうが良いのではないか。
- 構造図や総論の理念部分と各施策を有機的につなげていくような今後5年間の目指すべきスポーツから、ロジックモデルを構築する方向があっても良い。
- 第2期計画と第3期計画のロジックモデルを比較検討すべきではないか。
- 目的と具体的に達成されるかという部分が、調査と結果としてペアとなって表示されるのが良い。アウトカムの部分を2段構成考えていくことも必要。
- 冒頭3行について、3行でまとめるには物足りない内容であり、また少し言葉をわかりやすくした方が良い。
- 暴力、暴言の根絶というところを具体的に記載してほしい。